

被爆60年・05年原水禁世界大会の成功を 広島200・長崎60人の代表派遣目標決める

新たな非核自治体宣言の取り組みを 県原水協総会ひらく

岡山県原水協 2005 年度総会が、6 月 4 日岡山県民主会館で開催されました。総会には、加盟 8 組織、8 地域原水協などから 22 名が参加。04 年度の総括と 05 年度活動方針を確認しました。今年は被爆 60 年という節目の年、核兵器廃絶の大きな県民運動を繰り広げ、05 年世界大会に広島 200 人、長崎 60 人の代表派遣を成功させることがきました。市町村合併後の新たな「非核自治体宣言」決議の取り組みを 9 月議会に向けて進めることなども確認されました。

新役員は代表理事・石井淳平、山本和弘、事務局長・中尾元重、同次長・平井昭夫、春名公宏、村上雅彦の各氏が選ばれました。

奈木野佳代(水島平和委員会)さん

平和行進・東京ー広島通し行進中

5 月 6 日東京夢の島を出発、8 月 4 日の広島に向けて毎日歩き続けています。行進を支える財政カンパをお寄せください。事務局まで。

05 年世界大会県事務局を開設

被爆 60 年の今年の世界大会をなんとかして成功させようと、6 月より短期専従体制をとりました。平井次長がつきます。月～金、Am10～Pm4 を基本に。
電話・FAX 086-221-8234 です。

NPT 要請行動報告会

草の根の平和運動こそ大切

5 月 2 日から開催された国連 NPT 再検討会議に参加した岡山県代表団 7 名（奈木野佳代さんは平和行進中）の報告会が県原水協総会の後に行われました。NPT 再検討会議の結果は、核兵器廃絶の真の妨害者がアメリカ政府にあるということが鮮明になったこと、草の根の平和運動が国際世論を作り出す上で極めて大きな力になっていることがわかりました。その意味でも、目前の平和行進、05 年原水爆禁止世界大会の成功のために NPT 代表が先頭に立ってがんばる決意が述べられました。

パンフ2800部、バッチ2400個 ペナント300本の普及を

世界大会の成功のための学習を、職場、地域で旺盛に繰り広げましょう。情勢学習に最適のパンフレット 2800 部(1 部 300 円・卸価格 250 円) 運動普及のバッチ 2200 個(300 円・卸価格 250 円)、大会賛同のペナント 300 本(1 本 1000 円で購入いただく)の普及を総会で確認しました。地域原水協、加盟組織では被爆 60 年の記念すべき大会の成功をめざし資材の積極的活用をお願いします。ご注文は県事務局へ。